

議員の知見と活動の集約

一般質問で町政を問いました

一般質問は、町政全般にわたって、議員個人が執行機関に質問し見解を求めるものです。議員の知見と活動の集約であり、議会活動の「花形」とも言われています。



◀本会議の様子を
生中継・録画でも配信



■廣嶋 隆 議員 7 ページ

1. 天神東公園再整備の目的は
2. 上野田十字路右折レーンと歩道建設は
3. 外国籍住民数と世帯数は

■山崎 守人 議員 11 ページ

1. 指定ごみ袋購入制限解消は
2. 体育館へのエアコン設置状況は

■藤多 ゆかり 議員 8 ページ

1. プレミアム商品券の販売状況は
2. 「架け橋プログラム」の取り組み状況は
3. 図書館の無料 Wi-Fi 導入時期は

■飯島 衛 議員 12 ページ

1. 緊急通報システムの利用拡大を
2. 介護保険住宅改修の補助見直しを

■富岡 栄一 議員 9 ページ

1. 漆原総社線と産業団地の地代の違いは

■大井 俊一 議員 13 ページ

1. 町民の安全は確保されているのか
2. 関係人口として生かしているか

■宮内 正晴 議員 9 ページ

1. 生活道路へのハンプ設置は

■小林 静弥 議員 14 ページ

1. “よしポ廃止” に町民の声は
2. “水沢山に恐竜” の景観活用を

■小池 春雄 議員 10 ページ

1. 介護慰労金廃止の見直し結果は
2. 中学校給食費無償化をなぜしない

■飯塚 憲治 議員 15 ページ

1. 吉岡バイパスの延伸工事着手は
2. 不足する消防団員、その増員策は

天神東公園再整備の目的は



ひろしま たかし
廣嶋 隆 議員

A 道の駅の集客と売り上げアップ



Q 天神東公園は平成9年に供用を開始し、地元住民のために整備された公園。再整備の目的は。

A 天神東公園を道の駅のサポート施設として加え、道の駅の集客と売り上げアップを目的に、吉岡温泉公園として一体的に再整備する。

Q 再整備の目的がはっきり見えてこないが焦点をどこに合わせるのか。

A 公園の需要が高い子育て世代やファミリー層をターゲットとする。

Q 集客と売り上げ増の施策は。

A 公園内には築山や池をすることで、変化に富む景観を作り、飲食物販施設などで居心地の良い空間を作り、地形に合わせた遊具を設置することで、滞在時間が自然と長くなるよう計画する。

Q 工事の概算費用と国の交付金は。

A 概算事業費は約7億5000万円、国の交付金は約3億7500万円を見込む。

Q 今までホタル観賞ができたが、再整備によりホタル観賞はできるのか。

A 蛍の会に確認をしたところ、現在は公園の外で活動しており、ホタルの生息場所の確保は不要との回答を得た。



令和13年度の開園を目指し準備が進む（天神東公園）

上野田十字路右折レーンと歩道建設は 令和9年度末の完成を見込む

Q 県道前橋伊香保線上野田十字路は、土日・祝日になると前橋方面への車列が渋滞。原因は右折レーンがないこと。平成30年に小倉・上野田・上野原の3自治会長名で右折レーンと歩道建設の要望書を町に提出した。経過説明を。

A 県渋川土木事務所が事業主体となり、歩道整備の工事を実施している。交差点右折レーンの設置は、令和9年度末の完成を見込んでいる。



渋滞解消の願いが叶う上野田十字路

外国籍住民数と世帯数は

4月1日現在 274 人で 190 世帯

Q 吉岡町における外国籍住民数と世帯数は。

A 令和8年4月1日現在、男性144人、女性130人、合計274人。世帯数は190世帯。

Q 国籍別住民数は。

A 1番多い国はインドネシア55人、2番目はフィリピン45人、3番目はベトナム44人。

Q 自治会加入やごみ出しルールの説明は。

A 自治会の概要やごみ出しルールは、住民課で説明をし、ごみの分け方・出し方のパンフレットを、言語に応じて配布している。

プレミアム商品券の販売状況は



ふじた 藤多 ゆかり 議員



A 5月末現在 66.1%、再販は未定

Q よしおか生活応援プレミアム商品券の販売実績は。

A 5月末現在で1万5259冊を販売し、販売率は約66.1%。

Q 住民から寄せられた声の把握は。

A 会場の混雑（文化センター）、平日での引換えが難しい、高齢者や障がいのある人の手続きに負担があるといった意見が寄せられ、支援が重要であると認識している。

Q 再販売の可能性は。

A 再販売の実施についての判断には至っていない。まずは販売の周知や支援を行う。

「架け橋プログラム」の取り組み状況は

小学校生活のスタートに向けて工夫

Q ※幼保小連携架け橋プログラムへの取り組みは。

A カリキュラムの策定には至っていないが、小学校職員が園に出向いて、保育の様子や活動環境の様子、特に環境構成の工夫、これを参観し、円滑な学校生活がスタートできるよう工夫している。

Q ジェンダー平等の観点から、役場職員の男女間賃金差異・女性の管理職比率は。

A 令和6年度の常勤職員については、男性職員の給与を100としたときの女性職員の給与の割合は85.8%。女性の管理職比率は16.7%。



ジェンダー平等の実現を

図書館の無料 Wi-Fi 導入時期は

スピード感を持って検討中

Q 図書館の無料 Wi-Fi 整備の進捗は。

A スピード感を持った対応を心がけて検討を進めており、今年中には令和9年度内での導入が可能かどうか、決めていきたい。

Q 学童保育の今年度の入所人数は。

A 明治小学校区 240 人、駒寄小学校区 255 人、合計 495 人。

Q 人数過多などによる外遊び減少の改善を図っていく考えは。

A 外遊びの重要性は認識しており、児童の安全で快適な居場所づくりに努めていく。

Q シェアサイクルコグベの利用状況は。

A 導入開始の2カ月間で、吉岡町から前橋への乗り出し総数 97 件、乗り入れ総数 77 件。ポートの利便性向上を図るとともに、利用データの分析を通して配置最適化や利用促進キャンペーンを検討。



今後の利用が期待されるコグベ
(道の駅よしおか温泉)

※幼保小連携架け橋プログラムとは

小学校入学前の5歳から小学1年生までの期間を架け橋期と捉え、幼少期からつながりのある教育の実現を目指し、令和4年、文部科学省は幼保小の架け橋プログラムを策定した。

漆原総社線と産業団地の地代の違いは



とみおか えいいち
富岡 栄一 議員



A 不動産鑑定士が算定している

Q 漆原総社線と産業団地の用地買収単価の相違について、産業団地地権者にどのように説明をするのか。

A 用地買収単価は、不動産鑑定士が国の不動産鑑定評価基準に基づき、交通の利便性や周辺の土地利用状況、地域の地価水準、市場での取引事例など、多角的な要素を総合的に評価し鑑定額を算定している。

Q 漆原総社線は、令和4年から測量設計および用地測量が始まり、完成予定が令和8年から、令和12年に変更になり、延べ9年間の事業になるが、今の進捗状況は。

A 事業用地買収や、群馬用水の埋設管移設など不測の事態が発生している。令和12年度末

の完成に向け関係機関との協議を行い、業務を進めている。



用地買収が進められる産業団地予定地周辺

生活道路へのハンプ設置は



みやうち まさはる
宮内 正晴 議員



A 周辺住民の理解が必要

Q 生活道路へのハンプの設置は。

A 交通安全対策として、物理的デバイスのハンプ設置は一定の効果があるが、振動や音が発生する。設置には周辺住民の理解が必要。



自動車速度の低下を促すハンプ

Q 防犯灯・街路樹の点検は。

A 防犯灯の定期点検はしてないが、令和6年度LEDリース事業終了時に業者に目視点検を実施。街路樹の点検も行っていないが、大きく

なった樹木は伐採。

Q 町道危険箇所等通報の情報提供は。

A 広報やホームページで周知を図る。システム導入によって危険箇所早期発見、事故防止に。

Q 県道南新井前橋線の今後は。

A 交通状況に関しては、関係機関と情報の共有を図り注視していく。

Q 吉岡町地域福祉計画の取り組みは。

A 地域サロンの町全体への拡大と、後継者育成や活動の充実を図る。

Q 自転車事故の対策は。

A 毎日登下校時、ヘルメット着用の声掛け実施。ルールや決まりを指導、交通安全教室だけでなく学校教育全体で意識が重要。

介護慰労金廃止の見直し結果は



こいけ はるお
小池 春雄 議員



A 財政状況厳しく、復活を断念

Q 介護慰労金廃止の見直しを再検討した結果は。

A 昨年度、意見聴取を行った中で、予算を大幅に削減した介護慰労金について、「在宅介護の負担が大きいため配慮してほしい」や「先人が培ってきた制度を存続に向けて努力してほしい」などの意見があった。しかし、吉岡町を取り巻く昨今の財政状況は極めて厳しく、苦渋の選択だが復活を断念した。



高齢者に夢を与えられるような、町独自の施策を

Q 子育て支援策の「児童扶養手当」は、制度として認知度が低い、利用状況と啓発活動は。

A 「児童扶養手当」は、離婚や死亡などによりひとり親になった家庭生活の安定と自立、児童の福祉増進を目的とした重要な制度で、町では認定者167人。啓発活動としては、ひとり親となるきっかけは離婚によることが多いので、町では婚姻解消の届出があった際、戸籍担当部署から、手当担当部署へ直接案内をつなぎ、確実な説明と啓発に努めている。また、離婚前の相談に対しても、制度の概要や手続を丁寧に案内しているほか、町ホームページなどを活用した周知を図っている。

中学校給食費無償化をなぜしない

生徒数増の間は負担を求めたい

Q 本年度から、小学校は全国で給食費が無償と

なった。中学校で全額無償になっていないのは群馬県35市町村の内、唯一吉岡町だけ。保護者からも「吉岡町も早く実施すべき」との声が聞かれる。しない理由は何か、町長の考えは。

A 吉岡町は県内唯一の人口増加の町として、児童・生徒の増加が見込まれている現状。当分は保護者負担増加にならぬよう負担軽減を考慮しつつ、一定の負担を求めている。



中学校給食費の完全無償化を

Q よしおか生活応援プレミアム商品券について、売れ残りが出たら二次募集をすると聞いた。元気な人は何回でも購入に行けるが、高齢であまり広報も見なかったり、商工会からも遠い地域だったり、購入できること自体知らない人もいる。直接振り込むとか商品券を配るなど、等しく町民に行き渡ることを大前提として進めてほしいが。

A 加盟店からは、新規来店や売上げ増につながったとの声もあり、一定の効果があったものと認識している。一方で、引き換え会場の混雑や事務経費の発生、職員増員などの課題もあり、今後は手続の簡素化、高齢者・障がいのある人への支援、公平性の確保など、より効果的で実効性の高い支援方法となるよう検討していく。

指定ごみ袋購入制限解消は



やまざき もりひと
山崎 守人 議員



A 解消に向かっていくと考えている

Q 最近の国際情勢が実生活にも影響が出てきている。先日、指定ごみ袋を購入しようとした際、購入の制限がかかっている、1人1サイズ1個までと説明を受けた。ごみ袋の購入制限の解消の見込みはあるのか、現状把握している状況を伺う。

A 町指定ごみ袋は、現在委託業者の発注により、原材料メーカーが一定量を確保している在庫の中から生産している。長期化する不安定な中東情勢の影響を受け、各方面から製造工場への注文が増加しており、通常よりも製造に時間を要する状況となっている。町は例年と同程度の供給体制を確保しており、製造され次第、注文があった販売店に納品している。現時点では、過度な買いだめが控えられれば安定した供給が可能であり、購入制限の解消に向かっていくものと考えている。

Q 今回の購入制限の町民周知は行っているか。

A 町ホームページに掲載している。緊急であったため、広報よしおかや回覧は間に合わず、また、公式LINEやホットメールについては、かえって町民の不安をあおり、買いだめを助長する結果になることも考えられたので見合わせることにした。こうした経過から販売店へ依頼文書を送り、店頭での案内とした。



在庫はあるので過度な買いだめは不要

体育館へのエアコン設置状況は

まずは中学校体育館への設置を検討

Q 町内学校の体育館へのエアコン設置の状況は。

A 本来全ての体育館に設置することが望ましいが、現在の町の財政状況では優先順位をつけ、整備を検討している。まずは部活動などでも使用している中学校の体育館への設置を具体的に検討している。



エアコンの早期設置を望む中学校体育館

Q 5月でも30℃を超えるような日が数日あった。そんな暑い中でも中学校のエアコンは使用できず、扇風機でしのいでいると子どもから聞いた。親としても一議員としても、今の状況で大丈夫か不安になる。説明を求めたい。

A 各校のエアコンは集中管理、または個別管理のエアコンが設置されており、駒寄小を除くほとんどは集中管理エアコンが設置されている。集中管理は各教室などで個別設定はできず、一括して気温管理を行う仕様である。

Q 冷暖房の切り替えはすぐにできないのか。また切り替え時期を見直す予定はあるか。

A 職員での切り替えはできず、保守点検業者で切り替えを行っている。例年5月末で切り替えていたが、切り替えの前倒しは可能なため、来年以降は業者と調整協議したい。

緊急通報システムの利用拡大を



いいじま まもる
飯島 衛 議員



A 貸し出し条件を見直したい

Q 現在町内に親族がいない 65 歳以上の 1 人暮らしで、持病や障がいがあり、見守りが必要な人には緊急通報システムを貸し出している。持病や障がいがなくとも条件を緩和してより多くの高齢者に貸し出しできないのか。

A 財政状況が厳しいが、条件の緩和や見直しの検討をしたい。

Q 1 人暮らし高齢者は何人いるのか。

A 65 歳以上の 1 人暮らし高齢者の実態調査は令和 5 年度に終了したため集計はしていない。令和 6 年度には 65 歳以上の 1 人暮らし高齢者保養事業を実施しており、参加希望調査の対象は 660 人となっている。

Q 見守りカメラの設置など、1 人暮らし高齢者に対する新たな安心対策が必要と思うが。

A 離れて暮らす親族に見守りカメラなどの民間サービスの活用を働きかけることは、安心な生活を守る有効な手段であり、可能である。

Q 「よしおか支え愛マップづくり」が自治会で順次始まっているが、その中での高齢者の日常の安否確認はどのように行うのか。

A マップづくりは災害時に地域住民の人のつながりを確認するものだが、日常的な見守りネットワークの強化にもつながると期待しており、今後も多様化する地域課題にこたえるよう、見守り支援の拡充に取り組んでいく。

介護保険住宅改修の補助見直しを

受領委任払いを導入したい

Q 居宅での介護環境を整えるための住宅改修工事に対して補助制度があるが、一時的に工事費を全額負担することになっており、利用者から改善を求める声がある。検討の余地はあるのか。

A 負担を軽減する制度として、受領委任払いと

いうのがある。県内でも導入している自治体もあり、準備ができたなら導入していきたい。



介護保険住宅改修工事で
取り付けた手すり

Q 陣場地区では新 1 年生でも、約 2 ～ 3 km の道を暑い日など徒歩で登校している。通学バスの利用範囲の拡大はできないのか。

A 距離について相当遠いというのは十分認識している。善後策を考え、課題を一つ一つ解決していきたい。



上級生に混じって登校する 1 年生

Q チャイルドシート購入補助金の継続は。

A 令和 8 年 6 月で補助事業を終了する予定だったが、交付状況を見直した結果、当面の事業継続を決定した。

町民の安全は確保されているのか



おおい しゅんいち
大井 俊一 議員

A 注意喚起・周知・修繕協議をしたい



Q 磐越道バス事故の教訓を生かした小・中学生町外活動の安全確保は。

A 学校行事では、事業許可業者を使用している。事故には約款により法的に対応できる。週末部活動の公式大会参加は、町補助による運送会社貸し切りバス利用。公式大会以外の貸し切りバス利用の費用負担と保護者の運転による責任の所在の問題がある。町マイクロバスと教員の運転による生徒の送迎はない。スポーツ少年団には、国・県の安全対策をできるだけ早く注意喚起と周知を図りたい。

Q 町有施設における利用者の安全対策は。

A 委託保守点検業者による定期点検と職員による点検記録の保持と利用者による申し出・利用日誌などを確認し修繕などの対応を実施している。テニスコートなど劣化している施設など補修業者と協議し修繕を続けたい。学校教育では、熱中症防止ガイドラインなどで安全管理を実施。社会教育関係では熱中症防止ガイドラインがないため注意喚起の具体的方法を検討する。通学バス待合場所などの安全対策は今後の研究課題。



吉岡中通学バス乗り場の交通安全対策を

Q 令和8年度の吉岡町緑地運動公園周辺と船尾滝周辺の熊対策は。

A 利根川河川敷管理をしている群馬県と問題点を共有し、今後の対応について協議を行いたいと考える。船尾滝周辺は、警戒が必要な区域と位置づけ、情報把握と通報体制の強化、出没させないための環境整備、子どもの安全確保、猟友会などと随時手順の確認などを行っている。

関係人口として生かしているか

情報収集を行い研究していきたい

Q 昨今、吉岡町の民間団体で練習をする町外の選手が棒高跳びで日本新記録を出したり、国民スポーツ大会の馬術競技で活躍したりとの報道があったが、スポーツおよび文化活動における関係人口として生かしているか。

A 関係人口とは、移住した定住人口でもなく、観光にきた交流人口でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことを指す。地域の交流発展に活躍する人材であると考えられるので、生涯学習や社会教育などの観点からどういった取り組みができるか情報収集を行い研究していきたい。



いしいかずひと
国スポで活躍する石井計人さん

“よしポ廃止”に町民の声は



こばやし しずや
小林 静弥 議員



A「残念である」との声は数件のみ

Q よしおか健康 No.1 ポイント（通称よしポ）廃止に対して、町民の声は。

A 例年のポイント交換者は平均約 200 人であり、廃止に際して、利用者から、残念であるとの声が数件寄せられたが、大きな混乱や反響はなく、関係団体からの特段の意見もなかった。



よしポ終了でも毎朝健康 No.1
（八幡山グラウンドのラジオ体操会）

Q 自治会組織よりも細かく、一部委託できる地域協力体制づくりなど、新たな除草対策の可能性をどう考えるか。

A 委託方法や事故に対する保険、対象とする団体の基準など課題が多く、現段階では難しい。

Q 現在、町内の教育現場において、上毛かるたがどのように活用されているのか。

A 小学校社会科の授業で、県の産業や歴史について学習導入段階で活用。育成会では毎年吉岡町子ども会上毛かるた大会が開催され、町代表選手が北群馬郡大会、県大会にも出場。

“水沢山に恐竜”の景観活用を

非常に興味深い試み

Q 水沢山山腹の針葉樹林が、見る角度によっては巨大な恐竜のような形に見えるという、独特な地域景観を活用した遊び心あるシティプロモーションについての考えはどうか。

A 遊び心あるシティプロモーションや景観の見立てを活用した地域づくりに関しては、非常に興味深い試み。シビックプライドの醸成に向けた継続的な課題として取り組みたい。

Q ネーミングライツ導入のガイドライン作成中とのことだが、町道をネーミングライツの対象と考えては。

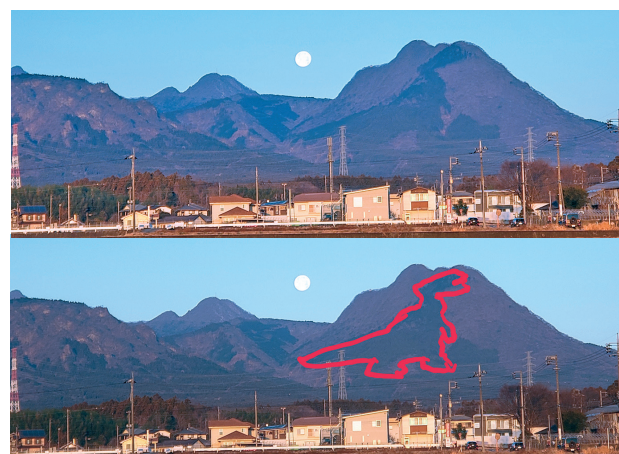
A 今年度中に 1 施設を目的に進めているところ。ガイドラインの中では、町道は対象外だが、今後導入できる可能性はゼロではない。

Q 関越自動車道駒寄パーキングエリア・スマートインターチェンジ名称について、吉岡町の認知度向上や、郷土愛を育む観点からも、例えば「吉岡駒寄」のように町名をつけるなど、将来的な名称見直しの可能性は。

A 約 40 年もの間、「駒寄」の名称で広く一般に認知されている。また、名称変更には莫大な費用が想定される。慎重な検討が必要。

Q 時代の変化や住民ニーズに合わせた防災のアップデートが重要であると考えているが。

A 今年度も総合防災訓練を予定しており、来場者が防災を身近なものとして広く体験でき、「参加したくなる訓練」となるよう企画運営していきたい。



榛名山麓の水沢山に恐竜が（高崎渋川バイパス周辺から）

吉岡バイパスの延伸工事着手は



いづか けんじ
飯塚 憲治 議員



A 県・渋川市と協議中

Q 吉岡バイパス、県道宮東交差点から先 1.3Km の延伸着手計画、関越高速道東側の渋川市と本町隣接地域への工場誘致計画の進捗状況は。

A バイパスの延伸は、県・渋川市・吉岡町の 3 者でバイパス整備まちづくり勉強会にて、課題整理・役割分担などの協議を実施中。

Q 県道前橋伊香保線（吉岡バイパス）に面する土地は、流通や商売に最適であり、その利用者にとっても好都合な利便性の高い土地。道路両側の一定幅の区域を商工業可能に指定しても良いのではないかと。

A 商工業の集積地域は、4 カ所を指定しておりこれ以上の拡大は、自然・農地・開発との調和ある町づくりになじまない。改訂中の都市計画マスタープランでは、バイパス沿線を一律に商工業の開発可能地域とはしない方針。

Q 本町もこれから外国籍の住民増加は確実。日本に不慣れな人たちのさまざまな困り事の解消には、行政の支援が必要。サポートが十分でないと、地元住民・自治体とのトラブルが起こりかねず、やがて偏見が生まれてしまうと思う。現在の外国籍住民への支援内容は。

A 町の公式ホームページや広報誌にて、外国籍住民向けの情報を多言語で発信し、自身の権利や義務を理解してもらうことや、円滑に働き生活していくための支援をしている。



これからは吉岡町も外国籍住民への理解・支援が大切だ

不足する消防団員、その増員策は 待遇改善と募集活動の強化

Q 町民の生命と財産を守る消防団員が不足している。県内類似自治体と比較しても、飛び抜けて残念な状態。募集方法の改善など、団員増の方策はどのように考えるのか。

A 団員の生活・仕事の負担減のため、行事の統合廃止など活動の効率化を図り、出勤手当の新設・報酬の個人支給などの待遇改善を実施。勧誘策は、町広報誌に募集記事、防災イベントでの募集活動を実施している。一方、各議員にも、勧誘への協力を期待したい。

Q ボランティア協会会員の減少が顕著だ。年次ごとに大幅減少している。会員の増加策は何を考えているのか。

A 会の活動周知を強化し、ボランティアポイントの普及を図る。現会員による参加声掛け、社会福祉協議会との緊密な連携を通し、多様な世代が参加しやすい環境作りを図る。



ポンプ操法競技会での吉岡町消防団